

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

矢島 綏香

◆矢島 綏香
(師範一位 暢書)
温かく潤いのある線が魅力的で穏やかな臨書作品となった。

C

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

松岡 花薫

◆松岡 花薫
(師範二位 埼玉)
やや小粒に書かれているが、爽やかな感があり余白の生きた作品。

B

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

笠松 鳳琴

◆笠松 鳳琴
(師範六位 ベル)
運筆、統制とも端正で骨格がしっかりと素晴らしい作品。

S

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

吉井 香舟

◆吉井 香舟
(師範九位 東京)
伸びやかで切れの良い結体が纏まり魅力的です。雅印の向きは？

H

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

高橋 珠香

◆高橋 珠香
(師範候補 船橋)
筆圧、筆勢とも伸びやかで、力強い表現の見応えある作品。

S

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

森 瑤月

◆森 瑤月
(十段 綱島)
丁寧で安定した作品である。穏やかな書き方に好感がもてる。

Y

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

戸辺 萌真

◆戸辺 萌真
(九段 萌春)
伸びやかな線で流動感があり堂々とした作品。

B

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

斉藤 白舟

◆斉藤 白舟
(八段 東台)
闊達な動きでスケールの大きな作品です。潤渴のバランスも大変佳い。

H

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

土田 翠紹

◆土田 翠紹
(七段 稲城)
潤濁、強弱の配分とコントラストが見事な仕上がりで素晴らしい。

C

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

竹之内晴玉

◆竹之内晴玉
(六段 伊東)
力強い運筆で適切な墨量、流れの良さは、好感がもてる作品。

S

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

山田 江陽

◆山田 江陽
(五段 上池)
やや多めの墨で、全体にボリュームを持たせ、まとまりの良い作品。

B

陰雲帯残日怯予此何時欲
望黄山道無由見所里

石井 柳壁

◆石井 柳壁
(三段 公柳)
潤筆の美しい穏やかな上品な作品です。

H

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

池田 桃舟

◆池田 桃舟
（師範二位 氣舟）
丁寧な一字一字しつかりと書いています。

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

今村 耕雲

◆今村 耕雲
（師範三位 兵庫）
伸びやかな運筆でボリュームがあり、リズムを感じます。

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

フリツシュ宇仙

◆フリツシュ宇仙
（師範八位 瑞国）
しなやかで無駄のない筆線、すつきりとした作品です。

陰雲帯残り世は此何時歎
望黃山道無由見所思

大和田桃春

◆大和田桃春
（八段 箭弓）
大胆かつ筆力があがり、堂々とした半折作品になりました。

陰雲帯残り世は此何時歎
望黃山道無由見所思

清水 飛園

◆清水 飛園
（五段 飛山）
明暗を強調し、流麗に書かれ、雅趣豊かな魅力的な作品となりました。

陰雲帯残り世は此何時歎
望黃山道無由見所思

川崎 白蘭

◆川崎 白蘭
（四段 大和）
筆力が充実し、線質が鮮やかです。濃墨の為か筆峰が纏まらず残念です。

産弟憂
棄官續

和仁 岐山

◆和仁 岐山
（八段 優位 岐阜）
確りと書かれ、安定感のある隸書作品に仕上げました。署名に一考を。

産弟憂
棄官續

間瀬 雪流

◆間瀬 雪流
（七段 愛知）
沈着した線に筆圧の変化が見え巧みな筆致に「曹全碑」の品格さえ感じる。

産弟憂
棄官續

曰井 陽風

◆曰井 陽風
（四段 秀位 神奈）
丁寧できりつとした作品。お手本を良く見て行き届いた筆致見事です。

産弟憂
棄官續

河角 飛舟

◆河角 飛舟
（二段 飛山）
しつかりとした筆使いで行立ても良く、まとまりのある作品です。

福縁善
慶尺壁

神田 幸子

◆神田 幸子
（二級 晃山）
スピード感があり、筆の動きが見事です。署名を少々大きめに。

福縁善
慶尺壁

須加 敏子

◆須加 敏子
（三級 行田）
穏やかな書き振りの行書作品です。署名の入れ方が巧みで結構です。

福縁善
慶尺壁

伊藤 広美

◆伊藤 広美
（六級 飛山）
丁寧な書き振りで、結体も一字一字整っていて大変よいと思います。

福縁善
慶尺壁

開 里代

◆開 里代
（七級 相原）
伸びやかで丁寧な作品。筆勢も強く、良くまとまっています。

福縁善
慶尺壁

佐藤 光枝

◆佐藤 光枝
（八級 八橋）
肉太な線で堂々とした重量感のある作品です。

正當不
毛命令

八木橋 八坂 佐藤光枝

D

行行復何處
正身行朝不覺暮
行行復何處
正身行朝不覺暮

◆内山 秋郵
(師範位十段 宮苑)
気脈が通った行立てが素晴らしい安定感のある作品。
H

行行復何處
正身行朝不覺暮
行行復何處
正身行朝不覺暮

◆大橋 翠梅
(師範位十段 稲城)
筆がよく動き字形も確りしています。このまま精進して下さい。
H

行行復何處
正身行朝不覺暮
行行復何處
正身行朝不覺暮

◆杉田 柏静
(全幅部半紙十段 紫峰)
穏やかな線でゆつたりと書かれ、余白の生きた作品に仕上がった。
C

行行復何處
正身行朝不覺暮
行行復何處
正身行朝不覺暮

◆清水 翠雷
(全幅部半紙十段 稲城)
筆力があり闊達な流れを展開していて魅力的な作品となった。
C

母儀諸
姑伯叔
花陽九段 細貝青陽

◆細貝 青陽
(九段 花陽)
ゆるみのない点画で気迫が伝わって来る強い線質も魅力のある作品。
S

産弟憂
棄官續
板倉 佳楓

◆板倉 佳楓
(八段 敦楓)
波磔も丁寧な書かれ運筆のリズムが良い。余白も生きている作品。
B

産弟憂
棄官續
紫峰七段 長田柏香

◆長田 柏香
(七段 紫峰)
穂先の食い込みが強く、慎重な筆使いが見事で気品のある作品。
S

産弟憂
棄官續
伊東 七段 伊東静月

◆中川 静月
(七段 伊東)
力強い食い込みの良運筆が見事。名前が少々小さいので注意が必要。
Y

産弟憂
棄官續
伊東 七段 藤沢

◆有松 聖南
(六段 藤沢)
鋒先の利いた線で筆の弾力を生かした練度の濃い作品。
B

産弟憂
棄官續
伊東 七段 櫻青

◆田代 櫻青
(六段 櫻青)
淀みなく美しい筆の流れに潤渾の表現も見事です。
H

産弟憂
棄官續
小川 柳溪

◆小川 柳溪
(五段 公柳)
ちらしの流れが巧みで、間合いが素晴らしい和歌となった。
C

産弟憂
棄官續
齋藤 凌花

◆齋藤 凌花
(四段 相模)
字形、線質とも習熟されており、力強い運筆の見事な作品。
S

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干
上池 四段 古山千琳

◆古山 千琳
(四段 上池)
神経の行き届いた運筆に引き締まった線が気品のある作品。
S

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干
西村 鳳麗

◆西村 鳳麗
(三段 伊東)
きりつとした作品で穂先が効いて文字の形も良い。
B

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干
中村 柳翠

◆中村 柳翠
(初段 公柳)
よく手本を見て繊細な線質で書かれた優しい手紙文です。
H

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干
堀井 柏慧

◆堀井 柏慧
(初段 紫峰)
伸びのある線で、ゆつたりとした運筆で、情感のある書き振りが良いです。
B

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干
定田 典子

◆定田 典子
(初段 藤沢)
腕の動きが大きく伸び伸びとした運筆がとても良い草書である。
C

福祿善
莫不壁
藤沢 初段 藤沢 定田典子

◆藤沢 初段 藤沢 定田典子
(初段 藤沢)
腕の動きが大きく伸び伸びとした運筆がとても良い草書である。
C

福祿善
莫不壁
柳田 悦子

◆柳田 悦子
(二級 稲城)
真面目に書き込まれて、余白を生かした美しい作品。
S

福祿善
莫不壁
丸尾 恭子

◆丸尾 恭子
(二級 藤沢)
流れるような草書が美しい流れを出している。練度の高い作品。
Y

正当不
毛命令
落合 千春

◆落合 千春
(八級 神奈)
手本を良く見て真面目な書き方が良い。今後の精進に期待する。
Y

正当不
毛命令
宮崎 艶

◆宮崎 艶
(八級 綱島)
丁寧な筆使いが良い。全体の配置も良く、この級位では見事である。
Y

福祿善
莫不壁
竹内 桃雪

◆竹内 桃雪
(尚校部 特待位 門馬)
運筆に無理が無く素直な書き振りが、作品に強弱が表現出来る。と更に良くなる。
H

福祿善
莫不壁
岡村 紅雨

◆岡村 紅雨
(尚校部 六段 紅雲)
よく纏めていますが少し毛質が硬いかも。羊毛を使ってみては如何でしょうか。
H

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

金子 翠嶺

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

岡田 翠蘭

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

三原 柏鷗

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

榎本 禮清

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

久米 瑤堂

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

川前 聡香

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

奥貫 祥秋

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

飯盛 香鶴

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

今村 千花

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

池上 京綏

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

高橋 珠風

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

大庭 柏聲

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

鶴川 啓泉

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

工藤 香佳

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

小野 香岐

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

岸岡 柏光

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

笹生 麗月

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

多々良竹陽

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

杉田 柏静

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

関根 華溪

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

小笠原聖櫻

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

窪田 孤泉

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

古河 邑苑

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

荒木 聖香

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

谷奥 綏秀

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

内田 柳珠

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

奥山 花琳

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

星野 卜聖

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

村瀬 楓月

陰雲帶殘日怯兮此行時欲
望黃山道無由見所思

松本 聖珀

教えることは半ば学ぶことなり

本協会では、生徒一人でも支部が開けます。支部を開いて独立しましょう。

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

橋本 湖鶯

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

岡部 玉卓

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

笠松 朱雀

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

新島 桃蕾

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

成田 松睦

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

井上 汀香

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

楠本 朱洸

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

荻野 翠翔

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

中田 華舟

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

福田 玉溝

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

藤沢 玉鸞

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

橋本 紅秋

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

田中 香穂

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

大沼 鶴華

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

葉本 清竹

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

鹿島 朱卓

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

平井 成佳

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

湯本 麗苑

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

大嶋 鶴蕙

秋收冬蔵閑餘成歳律呂調
陽雲騰致雨露結為霜

仁平 庭峰

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

イングリッヒ 翠陽

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

石川 瑞泉

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

飛田 正巖

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

小坂 桃月

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

椎名 鶴蓉

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

大塚 朱泉

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

高木 秀嶺

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

河井 琴洞

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

宮坂 櫻蘭

陰雲帶殘日怯予此行時欲
望黃山道無由見所思

青木 鶴擘

教えることは半ば学ぶことなり

本協会では、生徒一人でも支部が開けます。支部を開いて独立しましょう。

如濁淫
清渭歳

飯盛 香鵠

歳同
流碧

杉野 翠芳

同流碧
海黄河

大庭 柏聲

秋收冬
蔵閑餘

及川 濤苑

秋收冬
蔵閑餘

高木 白州

秋收冬
蔵閑餘

多田 江玖

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

石塚 翠寶

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

三大寺 黄葉

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

山崎 珠桐

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

増田 鷗苑

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

神田 敬眞

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

多々良 竹陽

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

笹生 麗月

如人行徑向空州
馬身今朝少留長路
平身行日長浦堂
孫行向春堂

藤井 花陰

母儀諸
姑伯叔

内堀 光雪

母儀諸
姑伯叔

小笠原 聖櫻

産弟憂
棄官續

吉井 香舟

産弟憂
棄官續

山田 江陽

産弟憂
棄官續

川崎 柏春

産弟憂
棄官續

森田 紅志

産弟憂
棄官續

竹内 江英

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

北村 春峰

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

コデリッヂ 卓州

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

河野 聖遂

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

原 夢笙

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

鴨原 水花

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

小竹 翠奏

名花傾國兩相歡
常得君王帶笑看
解釋春風無限恨
沈香亭北倚欄干

及川 柳芳

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

川崎 柏秋

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

中根 東鶴

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

酒井 珠鶯

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

中島 順子

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

荒川 豊水

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

府玻 聡子

海にはほろなびて首
中をけに行き
ます冬かぜを引か
なふらにしよす
紫峰初段 川崎柏秋

山口かおり

いかだはたる
ろくろへちま
いもつと べつけい
ろくろへちま
藤沢 五段 阿部春子

阿部 春子

正当不
毛命令

横山 喜子

正当不
毛命令

堀井由貴子

福縁善
慶尺壁

勝田 千穂

福縁善
慶尺壁

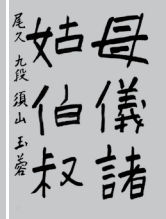
田中 柚華

福縁善
慶尺壁

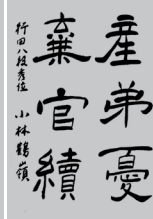
宮城 紅仙

福縁善
慶尺壁

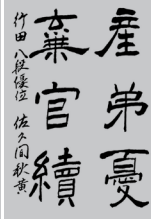
市川みのり



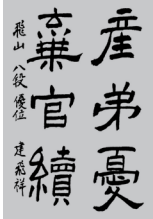
須山 玉蓉



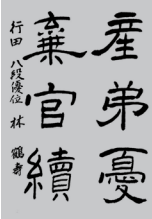
小林 鶴嶺



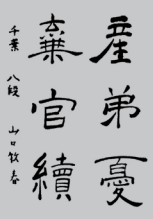
佐久間秋黄



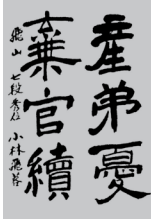
建 飛祥



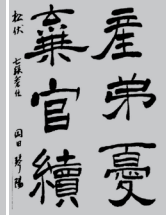
林 鶴壽



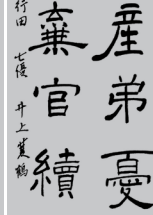
山口 牧春



小林 飛蓉



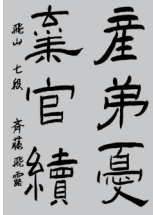
岡田 琴陽



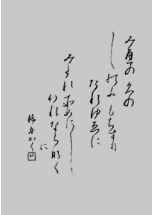
井上 雙鶴



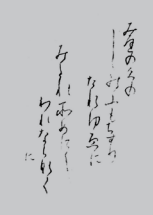
大森 玉霞



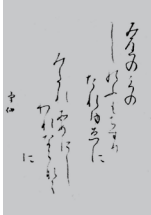
斉藤 飛露



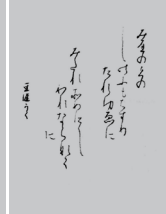
池田 桃舟



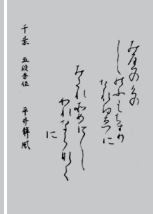
大熊 慧鶴



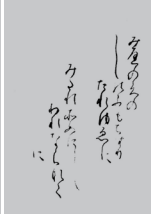
フリッシュ宇仙



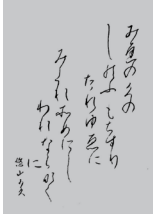
加藤 聖涯



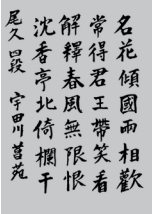
平井 靜風



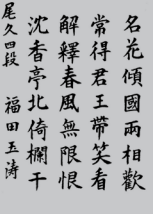
大和田桃燕



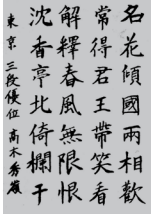
向井 悠山



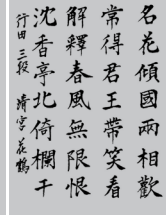
宇田川菖苑



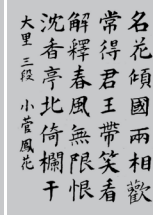
福田 玉濤



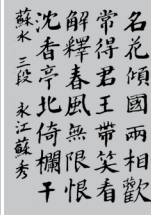
高木 秀嶺



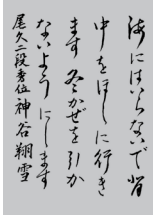
清宮 花鶴



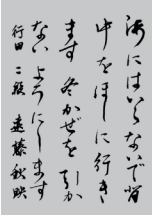
小菅 鳳花



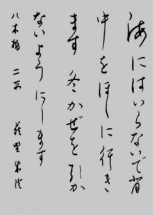
永江 蘇秀



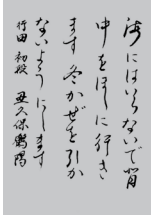
神谷 翔雪



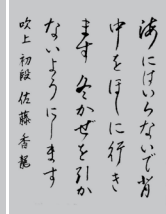
遠藤 秋映



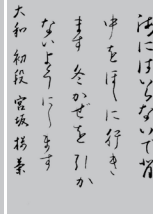
荻野 朱澄



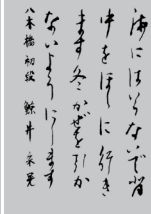
丑久保鶴陽



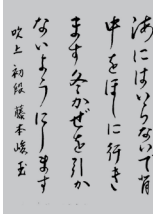
佐藤 香龍



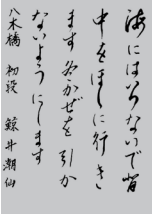
宮坂 櫻蘭



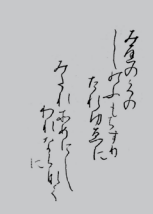
鯨井 朱晃



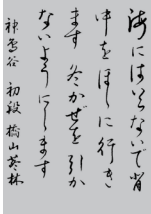
藤本 峻玉



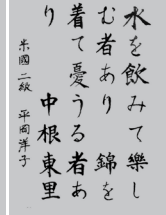
鯨井 潮仙



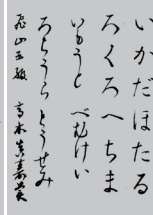
時田 桂鳳



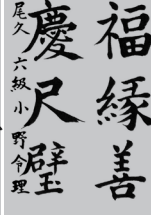
橋山 荃林



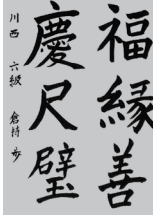
平岡 洋子



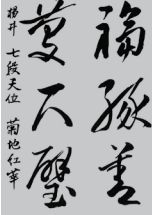
高木真寿美



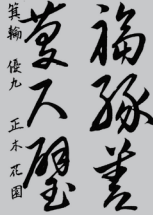
小野 令理



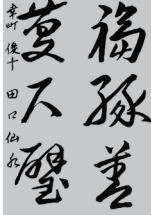
倉持 歩



菊地 紅萃



正木 花園



田口 仙水